



総務企画常任委員会県外調査 京都府議会にて



総務企画常任委員会県外調査 愛知県 ステーションA1について

落ち葉舞い散り、冬の訪れを感じる季節となりました。皆様には、お元気でご活躍の事と存じます。

県議会9月定例会は10月2日に閉会し、約83億円の今年度一般会計補正予算案など、県提出の21議案を原案通り可決し、令和6年度の一般会計および公営企業会計の2件を認定いたしました。補正予算には、農業用水を確保するための応急渇水対策費などが盛り込まれました。

私は9月11日に、一般質問に立ち、「県財政」・「観光」・「農業」「入札制度」の四つの分野について質疑を行いました。主な内容は次頁にまとめておりますのでご覧いただければ幸いです。

なお、今年は例年に比べインフルエンザの流行が早く、9月から全国で学級閉鎖が相次ぐなど、異例の状況となっています。

気候変動や生活様式の変化が要因と指摘されますが、流行の有無に関わらず、日頃からの予防が大切と言われております。寒さが一段と厳しくなりますが、どうぞご自愛ください。

宮城県議会議員 **わたなべ 忠悦**

活動アルバム



▲地熱発電についての勉強会



▲大震災復興調査特別委員会
県内調査 出島にて

▼総務企画常任委員会県内調査
東北学院大学五橋キャンパスにて



総務企画常任委員会県内調査 名取市
消防本部にて

▶発達障害等の現状に
についての勉強会



トピックス

宮城県で初めて『全国育樹祭』が開催されました。



森を守り育てる大切さを広く伝える緑の祭典、全国育樹祭が宮城県で初めて、10月4日と5日に開催されました。秋篠宮ご夫妻が宮城県を訪れ、樹木へのお手入れや式典行事に臨まれました。秋篠宮ご夫妻ご臨席のもと約4,000人が出席し、緑化功労者の団体などに表彰状が贈られました。全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを国民に伝えるため、毎年全国を巡回して開催されています。今回のテーマは、次世代へみどりのかけ橋森づくりです。柱は「持続可能な森林づくりの継承」「震災の教訓の伝承と新たな価値の創造」「伝統と新技術による木材利用の発信」の3つです。

式典会場では登米市津山地区の特産品、矢羽木工品や宮城県産こけしなどが展示され、宮城県の木材産業を全国に発信する機会になりました。



秋篠宮皇嗣殿下によるお手入れ（第48回全国育樹祭宮城県）



わたなべ忠悦は、常に皆さんの生きた暮らしをみつめます。

令和7年9月 定例議会 一般質問 質疑要旨&回答要旨

農業

米増産への転換

質 問

生産調整から増産への政策転換に対応するため、耐高温品種の開発などの施策を早める必要があると考えます。また、従来の施策も大胆な変更が必要と考えますが課題はどうなっていますか。

米作【答弁】農政部長

米の安定生産と供給に向け、高温耐性を有する有望な3つの候補について現地調査に取り組み、地域農業の担い手への農地集籍 ※ RTK 基地局を活用したスマート農業技術の普及拡大に取り組みます。また持続可能な水田農業の実現に向けて取り組んでまいります。

米の安定生産供給問題



国民の主食である米が購入できないなどという問題を二度と起こしてはならない。

RTKとは

※ **RTK (リアルタイムキネマティック)**：位置情報を使った相対測位方式の一種で、基地局（基準局）と移動局が同時に観測したデータの差分を利用して誤差を打ち消し、高精度な位置をリアルタイムに算出する技術です。

大区画化・再整備の推進

質 問

国の方向転換を踏まえ、農業の増産や効率化に向け、どのように大区画化・再整備を推進していきますか。また、老朽化した農業インフラの更新について、優先順位や今後の支援について考えをお聞かせください。

米作【答弁】農政部長

国の事業等を有効に活用しながら、ほ場の再整備も含め、スマート農業の導入等に向けた大区画化を推進するとともに、農業水利施設の長寿命化と更新について、施設管理者と策定した年次計画に基づき実施し、地域農業の持続的な発展に向け、取り組んでまいります。

農地区画再整備問題



農業の大区画化は小さな農地を纏め直すことで大型の農業機械などを導入し易くし、農作業の労力を削減する目的。

観光経済

観光政策と地域経済戦略

質 問

観光が地域経済を支えるためには、地産地消などを通じて観光を地域経済そのものとして設計する必要があると考えます。また、今後の観光政策及び地域経済戦略にどのような反映させていくのですか。

観光【答弁】経済商工観光部長

宮城の観光計画

宿泊施設で提供される料理の素材を県外から調達することにより、地域経済に十分に還元されないことが考えられる。今後地域食材を活用したメニュー開発の支援など、地域経済の持続可能な好循環を生み出す施策を検討してまいります。



宮城県には全国展開している魅力的なおもてなし料理が沢山あり、それらを県産の材料で賄い提供することで地域経済に還元することができる。

土木

道路の整備～みやぎ県北高速幹線道路未着工区間

質 問

みやぎ県北高速幹線道路の三陸道乗入及び迫町北方地区一般道利用地区を含む未着工区間について、工事着手や完成に向けた今後の計画とスケジュールはどのように考えていますか。

道路【答弁】土木部長

土木課題

当面は現道を利用する計画としており、現在整備を進めている（仮称）栗原インターチェンジ共用後の交通状況の変化や、沿線の土地利用状況等を確認するとともに、登米市などの意見も伺いながら、未着手区間の整備の在り方について、検討して参ります。



未着工区間の工事完成によって、地域住民の利益になると共に、観光客もより呼び込みやすくなる。

お問い合わせ

宮城県議会議員 **わたなべ忠悦事務所**
所在地：〒987-0511 登米市迫町佐沼字大綱 534
TEL：0220-23-7757 FAX：23-7838
E-Mail：tkdmg013@ybb.ne.jp

オフィシャルウェブサイト <http://watanabe-chuetsu.jp>

渡辺 忠悦

検索

近所にお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。
どんな小さなことでもよろしいので話をお聞かせ下さい。

